

ふくしま復興共同センター 子どもニュース

—子どもの笑顔を守り、福島で暮らしつつきたい—

ふくしま復興共同センター

放射能対策子どもチーム発行

【事務局 新日本婦人の会福島県本部】

〒960-8103 福島市舟場町 3-26 青年会館内

TEL・FAX 024-523-2863

発行日 2011年11月12日(土) No.4

子ども署名51,807筆(10/30現在) その後もぞくぞく… 6万を超えたよ！年内に国会へ！

* 子どもチームフログ *

<http://fukushima-kodomoteam.sesaa.net/> コメント待ってます！

10月30日に開催された“なくせ！原発10・30大集会”には県内各地、また全国から1万人を超える参加者が集い、「原発をなくそう」「3/11前の当たり前の暮らしを取り戻したい」というオール福島の声を発信しました。「子ども署名」は参加者からの反響が大きく、急きょ当日会場で署名コーナーを設けました。その後11月に入ってからもぞくぞく寄せられており、子どもチームでは要求実現にむけ、12月中には“国会へ署名提出に行こう”と話合っています。

国会署名提出行動にむけた「子ども署名」の第2次集約を11月20日とします

☆12月に「意見交換会」開催予定☆

保育士・医師・教師・学童関係者など子どもに関わりの深い皆さんとの「意見交換会」を開催予定です。子どもたちを取り巻く現状や今後の運動の方向性などについて、学習の意味も含めて、意見を存分に出し合い、そして思いを共有する場にしたいと考えています。詳細は決まり次第、お知らせします。

☆新婦人ほうらい班・すぎのめ班で署名行動☆

10/29 いちい蓬菜店前、11/8 ヨークベニマル南福島店前で署名行動を行いました。子ども連れのパパやママが「子どもたちのために早く対策をとってほしい」と署名してくれる姿や、「息子が転勤になって福島に引っ越してくるんだけど、どの辺が放射線低いの？孫が小さいから心配」と話していく人など怒りや不安の声が出され、それぞれ139署名と72署名が集まりました。

☆ガラスバッジの測定結果—高線量の子ども？☆

9月1ヶ月間のガラスバッジ(個人線量計)の測定結果ができました。福島市の結果は0.1~0.3ミリシーベルトの子どもたちが多いようです。0.3の子どもは年間3.6ミリということです。内部被ばくを考えれば7.2ミリです。教育委員会からの文書には「今回の測定は、現状における積算線量を把握するためのもの、結果は健康に影響を与えるような数値ではない」と書いてあるだけ…影響がないとなぜ言い切れるのか…結果に対して今後の具体的な対策などは何も示されず、ただデータを取っただけではないのか。行政への不信感は増すばかりです。

このような中、あちこちで非常に高い線量結果の子どもがいました。保護者が雨どいや物干しにつるすなどして意図的に高線量にしたものでした。高い線量結果ができれば、早く健康調査をしてもらえるかもしれない…親達の必死の抵抗なのでしょう。

【県議会議員選挙—11/20投票】

私たちの願いを声をしっかり県政に届けてくれるのはどの候補者なのか、しっかり見極め1票を託しましょう。

大集会—子どもチームの感想—

- 1万人集会も報道の取り上げわずか、公平な報道をすべき、怒り！
- 子どもステージ、子ども達の思い伝わって良かった。
- 署名の反響、こちらの構え以上に求められている。広げる余地や可能性を感じた。
- 実行委では6700人つかんでいたが実際は1万人超え。思い共有できた。

**10.30大集会の動画
USTREAMでみられます！
ぜひ見てね！**

<http://www.ustream.tv/channel/jcicast/videos>

ニュース拡散希望！

このニュースは加盟団体の県組織にお送りしています。地域単組へメール・FAXなどでお送りください。地域単組から構成員や個人など広く広くお届けください。情報を求めている人から「ニュースが届かない」との声が寄せられています。